

◆今期間のポイント

＜主要じょう乱の概要＞

- 11日から12日にかけて、高気圧が日本の東から日本のはるか東へ移動する。前線が沖縄付近から小笠原諸島付近に停滞する。
- 13日から15日にかけて、高気圧がサハリン付近から日本の東へ移動する。前線が華南から沖縄の南にのびる。

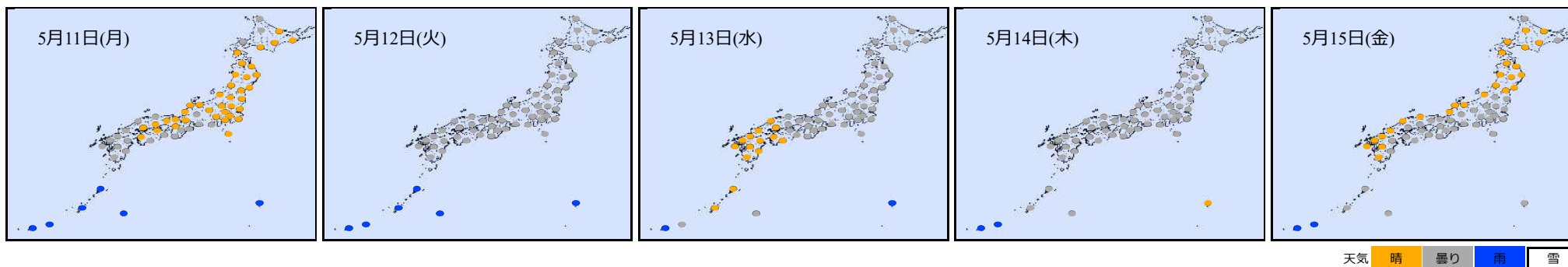
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

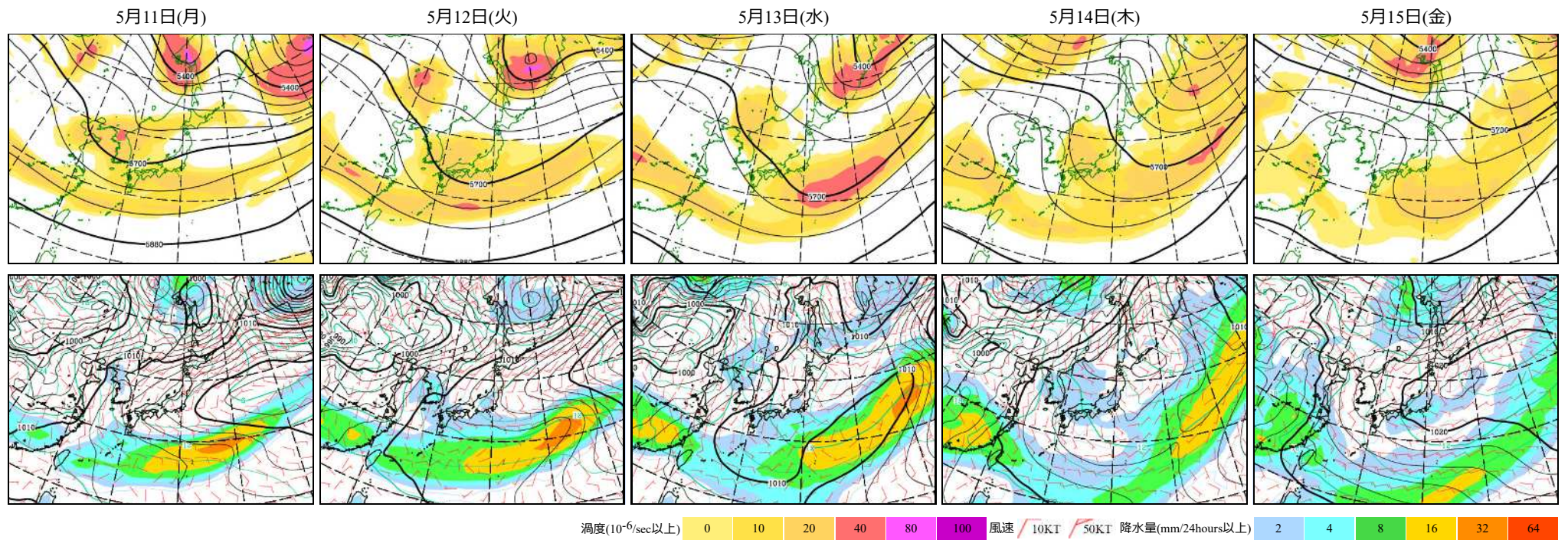
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

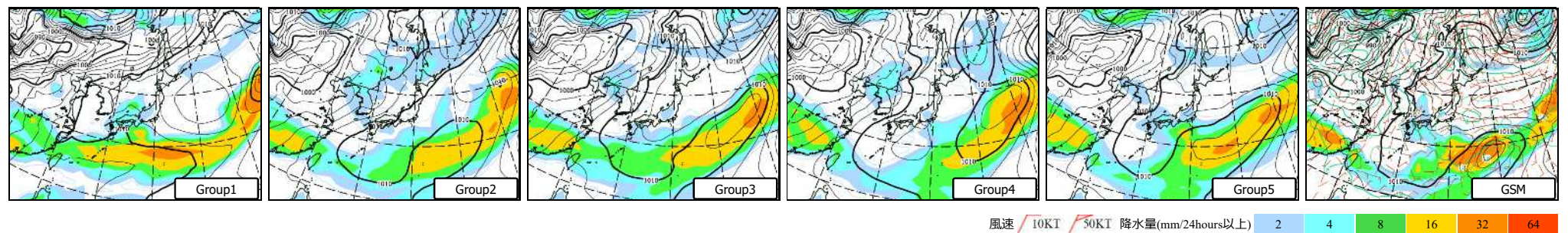


- 北日本、東日本、西日本は、曇りや晴れの日が多い。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆5月13日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、11日から12日にかけて日本のはるか東から本州付近に張り出す高気圧の勢力が強まった。13日は日本の南に移動する高気圧が弱まった一方、サハリン付近から南東へ移動する高気圧が強まった。
- モデル間の差は13日までは小さいが、14日以降に日本付近に進む上空のトラフのばらつきは大きい。
- スプレッドは期間の終わりで大きく、特定高度線のばらつきも大きくなる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。